



トニー・キングズベリー (Tony Kingsbury) の見解
ダウ・ケミカル・カンパニー
グローバル・プラスチックス・イシューズ部
BSEFアジア難燃プラスチックセミナー
2005年12月9日

米国におけるDeca-BDE

業界の課題

難燃剤と禁止案に関連した健康と環境上の懸念に対する取り組み。

業界の目標

市販臭素系難燃剤の市場を守ること。

背景

米国では連邦と州という2つのレベルで法令を制定する。

- 議会が全国規模の連邦法を制定し、それらは米環境保護庁 (EPA) などの連邦機関によって施行される。
- 州は連邦の法令を採用するか、または州の法令が連邦法を侵害あるいはそれに相反しないことを条件として、州独自の法令を制定することができる。
- 連邦または州レベルでの法案の提出は、多数の段階を経て進む長い過程の始まりに過ぎない。大部分の法案は法律にはならない。
 - 米議会では、提出された全法案の95パーセントが否決される。
 - 州では、提出された全法案の94パーセントが否決される。
- 有害または有毒物質の規制に関し、ほとんどの州が連邦政府の有害物質規制法 (TSCA) ならびに米環境保護庁が定めた規制の規定を採用している。
- 米国にはDeca-BDE の商業的利用を禁止または制限する連邦法あるいは州法は存在しない。

連邦および州の立法の現状

- 議会：2005年7月に、PBDEを含む様々な物質の規制を求める法案が米上院に提出された。それ以来、その法案を支持した主唱者は他になく、それ以上の動きはなく、また、何も予想されていない。



- 州：Deca-BDEの商業的利用を何らかの方法で禁止または制限する法律を制定した州はない。Deca-BDEに関する理解を深めるため、または代替品のフィージビリティを評価するために、いくつかの州が調査を実施中である。

臭素系難燃剤に関する法案が、確実に論理的に正しい科学的根拠に基づいたものとなるように、BSEFは議員らと密接に協力している。Penta-BDEとOcta-BDEについては次の法律が議会を通過した。

2005年12月の最新情報	
カリフォルニア	2003年にPBDE全種を禁止する法案が提出された。起草者により、Deca-BDEを除外するよう修正された。Penta-BDEとOcta-BDEのみの全廃が署名され、法律になった。州上院調査事務所（State Senate Office of Research）がDeca-BDEの綿密な科学分析を実施し、2004年にDeca-BDEについては何も措置を講じるべきではないという結論が出た。
ハワイ	2004年にリンダ・リングル州知事がPenta-BDEとOcta-BDEのみの全廃に署名した。Deca-BDEには適用されない。
イリノイ	2005年にPBDE全種を禁止する法案が提出された。Deca-BDEを除外するよう修正された。署名された法案ではPenta-BDEとOcta-BDEの製造が禁止され、Deca-BDEについては、IL EPAによる調査とIL公衆衛生局による検討が義務づけられている。
メリーランド	2005年に署名された妥協法案で、2007年1月1日までに、メリーランド州環境省がDeca-BDEの使用状況に関する報告書を提出することを義務づけた。また、Penta-BDEまたはOcta-BDEを含む新たな製品の製造、処理、販売、流通を禁じている。
メイン	2004年に署名された妥協法案で、2006年1月1日からPenta-BDEまたはOcta-BDEを含む製品を全廃するよう義務づけた。Deca-BDEは容認できる難燃剤として残った。全国的に入手可能で効果的なDeca-BDEの代替品が見つかった場合は、代替品の使用を義務づける新法が必要になる。
ミシガン	妥協法案で、2005年1月3日以降にミシガン州内でのPenta-BDEとOcta-BDEの製造、処理、流通を禁じた。ミシガン州環境質省は、さらなる調査の実施を除き、それ以上措置を講じる必要はないことに同意した。
ニューヨーク	妥協法案で、2006年1月1日以降にPenta-BDEとOcta-BDEを0.1パーセントよりも多く含む製品の製造を禁じた。州は臭素系難燃剤に関する理解を深めるための特別調査班を招集した。BSEF会員企業がこの特別調査班に参加している。
オレゴン	2005年に通過した妥協法案で、2006年1月の時点でPenta-BDEとOcta-BDEの



	使用を終了させ、Deca-BDE に関する調査を義務づけた。調査の完了期日は 2008 年 1 月。
ワシントン	2004 年の行政命令でエコロジー省と保健省に対し、特定 PBDE 種に対する曝露を低減するために州が講じることができる対策を立案するよう義務づけた。BSEF は計画について州機関に協力している。

米国にはDeca-BDE の商業的利用を禁止または制限する連邦法あるいは州法は存在しない。

以下は、2005～2006 年の会期中に提出された法案、または同会期中に有効な法案である。

2005 年 12 月 1 日現在	
マサチューセッツ MA SB 553 MA HB 1286	PBDE は当初、10 種の物質を禁止する 2005 年に提出された法案に含まれていたが、その後、PBDE は除外された。有害物質使用削減研究所 (Toxic Use Reduction Institute) が、除外された物質を戻すための新たな法律を要求するものと予想される。
ミネソタ MN HF 1299 (SF 1789)	2006 年 1 月 1 日時点で Penta-BDE と Octa-BDE を、2008 年 1 月 1 日時点で Deca-BDE を禁止するという法案に関し、2004～2005 年の通常会期と特別会期中には何も動きがなかった。会期は越年なので、法案は 2005～2006 年の会期に持ち越される。
ミネソタ MN SF 1595 (HF 1729)	特に臭素系難燃剤に言及した e-廃棄物法案に関し、2004～2005 年の通常会期と特別会期中には何も動きがなかった。会期は越年なので、法案は 2005～2006 年の会期に持ち越される。
ウィスコンシン WI SB 367	法案では、BFR を含む特定物質を含む被覆電子機器の WI 州内での販売を禁止する。免除が与えられない限り、これは法案が立法化されてから 7 年後に始まる。BSEF はこれの修正または中止を求める働きかけを行っている。
e-廃棄物法案	特に臭素系難燃剤に言及した e-廃棄物法案が、ニュージャージー (AB 3057/SB 1861)、ロードアイランド (HB 6115/SB 826) (修正により、BFR の除外が予想される)、バーモント (H. 212) で提出されている。BSEF は今後の展開に注目している。